

第111期 株主通信

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

 **芦森工業株式会社**

大阪市西区北堀江3丁目10番18号（〒550-0014）

電話 / (06) 6533-9250

ASHIMORI

 **芦森工業株式会社**



株主のみなさまには格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたびの東日本大震災により被災されたみなさまに、謹んでお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、当社グループはこのたび第111期の決算を行いましたので、その概況についてご報告申し上げます。

当連結会計年度のわが国経済は、海外経済の改善や政府が打ち出した景気対策の効果もあり、持ち直しに転じましたが、自律性は弱く、また高い失業率や急激な円高の進行、さらに東日本大震災の発生により先行き不透明感が強く漂うなど、引き続き厳しい状況のうちに推移いたしました。

このような情勢のなかで当社グループは、販売体制の一層の強化と新商品の開発による新規市場の開拓、事業領域の拡大をはかるとともに、主力製品のコスト削減を中心とした合理化を徹底して推し進めることで業績の向上に努めてまいりました。

当連結会計年度においては、広巾織物、シートベルト、エアバッグなどの販売拡大や、下水道分野の大口径管更生工法「バルテム・フローリング工法」の受注拡大に注力いたしました。

その結果、当連結会計年度の売上高は、398億56百万円と、前年度比6.3%の増収となりました。損益面では、全社をあげた人件費、経費の削減活動に注力した結果、経常利益は7億92百万円と、前年度比23.3%の増益となりました。しかし、平成20年10月に発覚いたしました当社製消防用・消火栓用ホース（以下、「当社製ホース」という。）の個別検定受検時における不正問題に関連し、一部の当社製ホースについて自主回収を行っておりますが、平成22年12月に自主回収対象製品の最終の追加を行ったこともあり、本問題に係る対策費用の見積額として22億50百万円、また、納入製品に対する製品改善対策費として5億円をそれぞれ特別損失に計上した結果、29億70百万円の当期純損失（前年度は26億22百万円の当期純損失）となりました。

なお、当連結会計年度につきましては、誠に遺憾ながら無配とさせていただきます。何とぞご了承賜りますようお願い申し上げます。

今後の経済は、経済対策の効果や海外経済の改善などを背景に景気の持ち直し傾向が続くことが期待されますが、東日本大震災の国内経済に与える影響は甚大で、加えて金融資本市場の変動や原油価格の上昇、また雇用情

勢に厳しさが残るなど、景気を下押しするリスクが存在しており、引き続き厳しい状況が続くと予想されます。

当社は、平成22年6月に、自動車用シートベルト、エアバッグ等の生産効率化に向け、芦森工業山口株式会社第二工場を竣工いたしました。また、平成22年5月には、全額出資子会社「アシモリ・インディア・プライベート・リミテッド」の工場建設にも着手し、平成23年6月の量産開始に向けて急ピッチで作業を進めております。今後は、芦森工業山口株式会社、アシモリ・インディア・プライベート・リミテッドをそれぞれ国内および海外における主要製造拠点の一つとして位置づけ、激化する企業間競争に打ち勝つために、グループ経営の基盤強化と効率化を推進してまいります。さらに、全社的な原価低減活動の推進によるコストダウン効果の最大化と既存商品の品質向上、また顧客のニーズを的確に捉えた新商品の開発による新規市場の開拓にも引き続き注力し、業績の向上と事業の一層の発展に全力をあげて取り組んでまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成23年6月

取締役社長 **佐 久 雄**

主要財務データ

	第110期 平成22年3月期	第111期 平成23年3月期 (当連結会計年度)
■ 売 上 高 (百万円)	37,489	39,856
■ 営 業 利 益 (百万円)	556	751
■ 経 常 利 益 (百万円)	642	792
■ 当 期 純 利 益 (百万円)	△2,622	△2,970
■ 1株当たり当期純利益 (円)	△46.26	△52.43
■ 総 資 産 (百万円)	34,401	33,363
■ 純 資 産 (百万円)	15,378	12,246
■ 1株当たり純資産額 (円)	271.01	215.72

(注)△は、当期純損失、1株当たり当期純損失を表しております。

自動車安全部品事業

シートベルト、エアバッグ、自動車関連用品（内装品その他）は、東日本大震災による生産停止などの影響を受けましたが、拡販活動を展開したことや海外市場が堅調に推移したことにより売上が増加いたしました。

この結果、当事業の売上は300億92百万円と、前年度に比べ、9.8%増加いたしました。



産業資材事業

「エアロール・システム」をはじめとする物流省力化関連商品は旺盛な需要に支えられ、売上を伸ばしたものの、「タイトナー」は需要の減少による影響を受け、売上が減少いたしました。一方でロープは、船舶用の新商品受注が好調に推移したことにより売上を伸ばしました。また、広巾織物につきましても、ゴム工業資材用、一般産業機械用ともに売上が増加いたしました。

この結果、当事業の売上は42億73百万円と、前年度に比べ、5.7%増加いたしました。



パルテム・ジオ事業

「パルテムHL工法」は、下水道分野やガス分野が減少したものの、農業用水分野やプラント分野などで好調に推移し、売上が増加いたしました。しかし、「パルテムSZ工法」、「パルテム・フローリング工法」は売上が減少したほか、「緊急排水ホース」についても受注が低迷し、売上が減少いたしました。

この結果、当事業の売上は49億44百万円と、前年度に比べ、6.4%減少いたしました。



防災事業

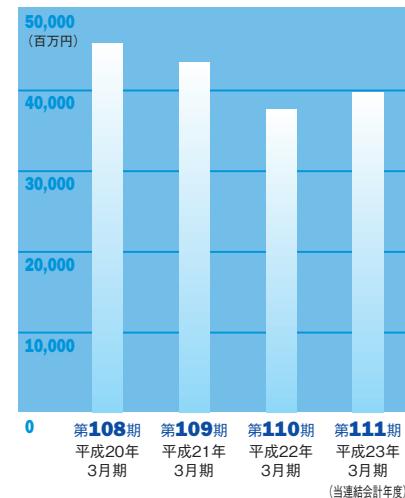
自治体の財政縮小による官公需低迷のなか、「ジャストップ」をはじめとした防災関連商品は低迷し、売上が減少いたしました。また、消防用・消火栓用ホースは、平成20年10月に発覚いたしました個別検定受検時における不正問題の影響により売上は低迷いたしました。

この結果、当事業の売上は5億12百万円と、前年度に比べ、26.0%減少いたしました。

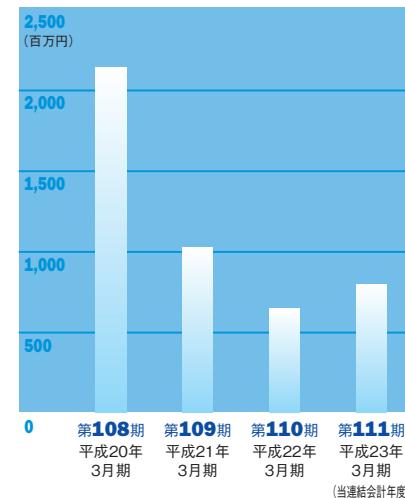


業績の推移

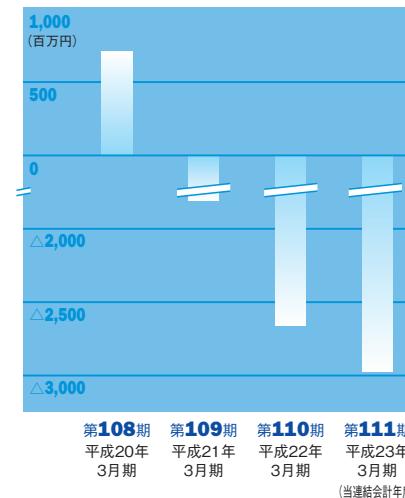
●売上高



●経常利益

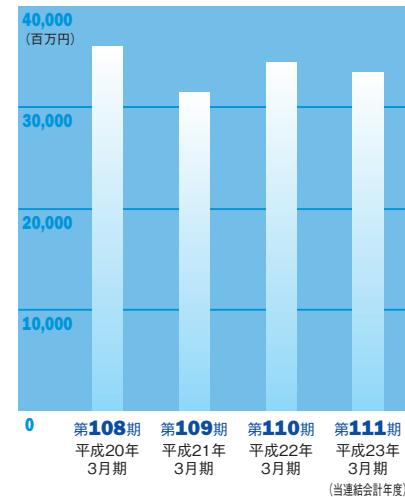


●当期純利益

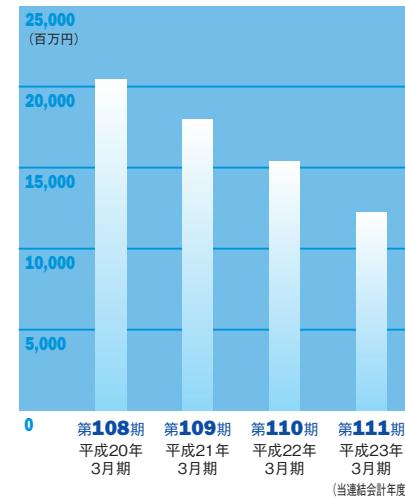


財政状態の推移

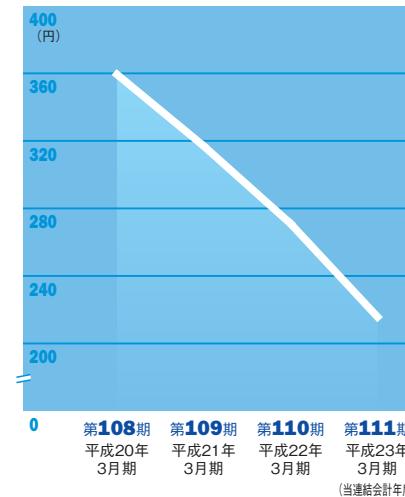
●総資産



●純資産



●1株当たり純資産額



連結貸借対照表 (単位:百万円)

科 目	第111期	第110期
	平成23年3月31日現在 (当連結会計年度)	平成22年3月31日現在
資産の部		
流動資産	20,463	21,130
現金及び預金	2,730	2,405
受取手形及び売掛金	9,716	11,787
たな卸資産	6,329	5,100
繰延税金資産	980	1,409
その他	716	441
貸倒引当金	△ 9	△ 14
固定資産	12,899	13,271
有形固定資産	9,664	9,594
建物及び構築物	3,608	3,107
機械装置及び運搬具	2,033	2,340
工具器具備品	797	1,003
土地	2,733	2,739
リース資産	44	32
建設仮勘定	447	369
無形固定資産	324	332
投資その他の資産	2,910	3,344
投資有価証券	1,643	1,810
長期貸付金	25	22
繰延税金資産	1,131	1,350
その他	191	215
貸倒引当金	△ 81	△ 54
資産の部合計	33,363	34,401

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

科 目	第111期	第110期
	平成23年3月31日現在 (当連結会計年度)	平成22年3月31日現在
負債の部		
流動負債	18,150	17,242
支払手形及び買掛金	9,202	9,688
短期借入金	3,166	480
リース債務	30	12
未払金	986	1,584
未払法人税等	185	160
賞与引当金	333	315
役員賞与引当金	16	21
防災製品補償損失引当金	2,720	4,068
その他	1,508	911
固定負債	2,966	1,780
長期借入金	1,133	—
リース債務	85	40
退職給付引当金	1,591	1,518
役員退職慰労引当金	123	213
その他	32	7
負債の部合計	21,117	19,023
純資産の部		
株主資本	12,815	15,788
資本金	8,388	8,388
資本剰余金	7,090	7,431
利益剰余金	△ 1,919	709
自己株式	△ 743	△ 741
その他の包括利益累計額	△ 593	△ 430
その他有価証券評価差額金	△ 271	△ 158
為替換算調整勘定	△ 322	△ 271
少数株主持分	23	20
純資産の部合計	12,246	15,378
負債及び純資産の部合計	33,363	34,401

連結損益計算書 (単位:百万円)

科 目	第111期	第110期
	平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで (当連結会計年度)	平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで
売上高	39,856	37,489
売上原価	35,332	33,313
売上総利益	4,523	4,175
販売費及び一般管理費	3,771	3,619
営業利益	751	556
営業外収益	166	252
営業外費用	125	165
経常利益	792	642
特別利益	100	194
特別損失	2,964	4,107
税金等調整前当期純損失(△)	△ 2,070	△ 3,269
法人税、住民税及び事業税	246	155
法人税等調整額	648	△ 803
少数株主損益調整前当期純損失(△)	△ 2,965	—
少数株主利益	5	0
当期純損失(△)	△ 2,970	△ 2,622

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

科 目	第111期	第110期
	平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで (当連結会計年度)	平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	△ 1,072	957
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 2,512	△ 942
財務活動による キャッシュ・フロー	3,794	120
現金及び現金同等物 に係る換算差額	△ 70	41
現金及び現金同等物の増減額	138	176
現金及び現金同等物の期首残高	2,389	2,212
現金及び現金同等物の期末残高	2,527	2,389

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書 第111期 平成22年4月1日から平成23年3月31日まで(当連結会計年度) (単位:百万円)

	株 主 資 本				その他の包括利益累計額			少数株主 持分	純資産合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定			その他の 包括利益 累計額合計
平成22年3月31日残高	8,388	7,431	709	△ 741	15,788	△ 158	△ 271	△ 430	20	15,378
当連結会計年度中の変動額										
当期純損失(△)			△ 2,970		△ 2,970			—		△ 2,970
自己株式の取得				△ 1	△ 1			—		△ 1
欠損填補		△ 341	341		—			—		—
株主資本以外の項目の 当連結会計年度中の 変動額(純額)					—	△ 112	△ 50	△ 163	2	△ 160
当連結会計年度中の変動額合計	—	△ 341	△ 2,629	△ 1	△ 2,972	△ 112	△ 50	△ 163	2	△ 3,132
平成23年3月31日残高	8,388	7,090	△ 1,919	△ 743	12,815	△ 271	△ 322	△ 593	23	12,246

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

TOPICS

トピックス

インド現地法人本格稼働に向けて

平成21年10月に設立いたしましたインド現地法人「アシモリ・インディア・プライベート・リミテッド」は、平成22年5月に工場建設に着手し、平成23年6月に量産を開始いたしました。

同社は、タイ、中国に続く海外第3の生産拠点として、現地自動車メーカーへのシートベルト等の供給を予定しております。

インドでは堅調な経済発展を背景に、自動車市場についても急速な拡大を続けております。今後、インドにおける事業拡大に注力してまいります。

インド現地法人の概要

- (1) 会社名 Ashimori India Private Limited
- (2) 所在地 インド ラジャスタン州ニムラナ工業団地
- (3) 設立 平成21年10月
- (4) 主な事業の内容 自動車用シートベルト等の製造・販売



当社製消防用・消火栓用ホースの個別検定受検時における不正問題について

平成20年10月に発覚いたしました当社製消防用・消火栓用ホースの個別検定受検時における不正問題により、みなさまに多大なるご迷惑をおかけしておりますことを心よりお詫び申し上げます。当社では、本不正問題に関連し、お客様に当社製ホースを安全にお使いいただくことを目的として、市場に流通している当社製ホースについて、安全確認を実施いたしました。その結果を受け、一部の当社製ホースを不具合または不具合のおそれのあるものとして自主交換・回収させていただくことを平成22年1月28日付ならびに平成22年12月22日付で発表し、現在も引き続き、対象製品の自主交換・回収について、全社一丸となって取り組んでおります。

当社は、本不正問題につきましては真摯に反省し、今後、このような事態が二度と起こらないよう、社内に設置した「再発防止委員会」を中心として再発防止具体策に取り組んでまいりました。その結果、当社製ホースの製造が可能な状況に至り、現在、製造再開に向けて作業を進めております。

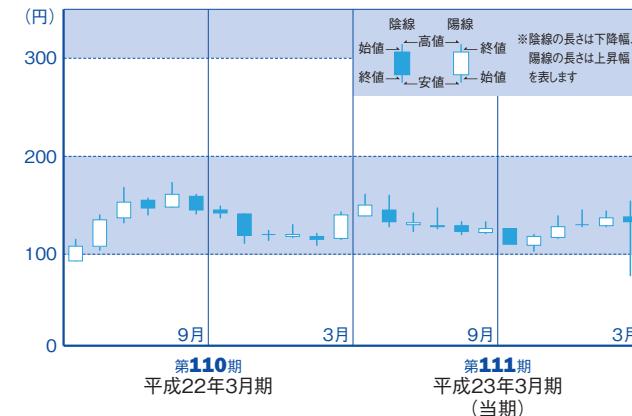
当社は、今後も、内部統制システム整備の一環として、コンプライアンス体制の強化を経営の重要課題に位置づけ、引き続き注力してまいります。また、再発防止具体策の確実な実行、およびリスク管理体制、品質管理体制等の整備を速やかに進捗させ、このような取り組みを通して、ステークホルダーのみなさまから再び信頼いただける企業となるよう、努めてまいります。

株式に関する事項 (平成23年3月31日現在)

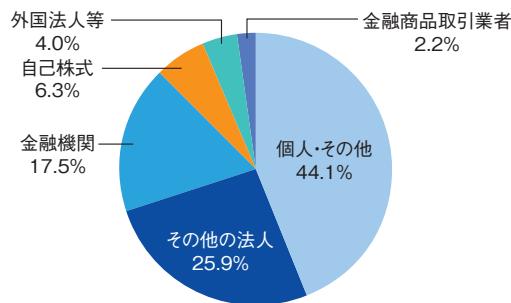
株式の総数

発行可能株式総数	220,000,000株
発行済株式の総数	60,569,390株
株主数	8,317名

株価の推移 (東京証券取引所)



所有者別株式分布状況



大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
東洋紡績株式会社	9,201,152	16.2
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,741,500	3.1
芦森工業従業員持株会	1,429,538	2.5
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	1,422,000	2.5
芦森工業取引先持株会	1,266,000	2.2
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,214,000	2.1
三井住友海上火災保険株式会社	1,168,593	2.1
日本生命保険相互会社	956,188	1.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	755,000	1.3
松井証券株式会社	635,000	1.1
合 計	19,788,971	34.9

(注) 持株比率は自己株式(3,798,874株)を控除して計算しております。

会社の概要

創設	業 業	明治11年11月7日
立 資	立 業	昭和10年12月27日
本 資	本 業	8,388,681,265円(平成23年5月31日現在)
本 資	本 業	60,569,390株(平成23年5月31日現在)
本 資	本 業	大阪府西区北堀江3丁目10番18号(〒550-0014)
本 資	本 業	電話/(06) 6533-9250
東 京 支 社	東 京 支 社	東京都中央区日本橋室町4丁目3番16号 柳屋大洋ビル(〒103-0022)
東 京 支 社	東 京 支 社	電話/(03) 3246-7300
大 阪 工 場	大 阪 工 場	大阪府摂津市千里丘7丁目11番61号(〒566-0001)
大 阪 工 場	大 阪 工 場	電話/(06) 6388-1212
篠 山 工 場	篠 山 工 場	兵庫県篠山市西町40番地の2(〒669-2342)
篠 山 工 場	篠 山 工 場	電話/(079) 552-1177
福 井 工 場	福 井 工 場	福井県小浜市多田2号雲月8の5(〒917-0026)
福 井 工 場	福 井 工 場	電話/(0770) 56-1212
浜 松 工 場	浜 松 工 場	浜松市南区小沢渡町26番地(〒432-8063)
浜 松 工 場	浜 松 工 場	電話/(053) 445-1522
連結対象子会社	連結対象子会社	芦森エンジニアリング(株)、芦森工業山口(株)、ジェット商事(株)、芦森不動産(株)、アシモリセンイ(株)、芦森科技(無錫)有限公司、Ashimori India Private LTD.、ASHIMORI (Thailand) CO.,LTD.

持分法適用
関連会社 (株)赤尾

役員 (平成23年5月31日現在)

取締役社長	缶	文	雄
常務取締役	高	橋	正雄
常務取締役	川	内	正樹
常務取締役	八	木	伊三郎
取締役	麓	利	親
常勤監査役	井	上	仁
常勤監査役	堂	園	栄一
監査役	庄	田	登

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年間とします。
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
配当金受領株主 確定日	期末配当金の基準日 3月31日 中間配当金の基準日 9月30日
基準日	定時株主総会の議決権の基準日は、毎年3月31日とします。 その他必要のある場合は、取締役会の決議により、あらかじめ公告し、基準日を定めます。
公告方法	電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告による公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 ※公告掲載の当社インターネットホームページアドレス http://www.ashimori.co.jp/
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	大阪市中央区伏見町3丁目6番3号(〒541-8502) 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話(通話無料) 0120-094-777
株式上場市場	東京証券取引所 第1部 大阪証券取引所 第1部

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、単元未満株の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

当社インターネットホームページ
<http://www.ashimori.co.jp/>

決算情報等、最新の会社情報を当社ホームページに掲載しております。
株主・投資家のみなさまのお役に立てるよう、掲載情報の充実をはかってまいりますので当社ホームページをご活用ください。